

令和4年度福岡県中学校体育連盟主催大会

第41回福岡県中学校新人サッカー大会の開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン

令和4年 9月 9日

福岡県中学校体育連盟

サッカー競技 専門部

本ガイドラインは、「学校の新しい生活様式」（文部科学省）、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会）及び「令和4年度（公財）日本中学校体育連盟 全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」（日本中学校体育連盟）等を踏まえて、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。

今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることに留意ください。

1 大会実施にあたっての基本的な考え方

大会の実施にあたっては上記ガイドライン等を参考に、福岡県・開催地・関係競技団体・施設のガイドラインの指針等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じることとする。

【大会実施にあたっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染防止の3つの基本（身体的距離の確保・マスク等の着用・手洗い等の徹底）
- (3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
- (4) 安全な活動環境等の確保

2 大会実施時の感染予防策について

(1) 感染源を絶つ

- ① 実行委員会は、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等を、大会に参加させないことを徹底する。
- ② 実行委員会は、各校の選手や引率者等の大会前後1週間分（計約2週間分）の体調を記録した**体調記録表（学校保管用）【別紙1】**の記録を求め、健康管理を徹底する。
- ③ 実行委員会は、大会当日受付時に、**大会当日体調記録表【別紙2】**を提出させ、選手や引率者等の体調を確認するとともに、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。
- ④ 実行委員会は、**大会当日体調記録表【別紙2】**に記載された者以外の来場者に対し、**来場者体調記録表【別紙3】**の提出を求めるとともに、来場後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告することを確認する。
- ⑤ 引率者等は、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。
- ⑥ 実行委員会及び引率者等は、大会中に選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携し、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

(2) 感染防止の3つの基本

① 身体的距離の確保

ア 開・閉会式の簡素化、または実施しない場合もある。

イ 実行委員会は、監督会議等を実施する場合、人と人との間隔が、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、椅子の配置等を工夫する。

ウ 引率者等は、集合時、待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔ができるだけ2メートル（最低1メートル）空くように指導する。

エ 実行委員会及び引率者等は、対戦相手や審判等との握手、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどの実施を制限する。

② マスクの着用

ア 実行委員会は選手、引率者等及び大会関係者にマスクを準備させ、大会中は、競技等実施時及び食事中を除いて、基本的にマスクを着用することを徹底する。

イ 実行委員会は、活動中や気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すように指導する。

ウ 引率者等は、会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせる。その際、給水用のコップ等を共用させない。

③ 手洗い等の徹底

ア 実行委員会は、選手、引率者等及び大会関係者がこまめに手洗いを行えるよう、利用する施設と連携し、手洗い場に十分な量の石けん等を配置するとともに、場内アナウンス等で選手や引率者等に手洗いを促す。

イ 実行委員会は、参加者に手洗い後に手を拭くためのマイタオル等を持参するよう周知徹底する。

ウ 引率者は、大会期間中、こまめに流水と石けんで手洗いを行うよう、選手に指導する。

(3) 3つの「密」（密閉空間・密集場所・密接場面）の回避

① 観客の有無及び制限については、屋外・屋内各試合場の状況や各競技の特性などにより、実行委員会で十分に事前協議を行い、対策を講じる。

② 引率者等は、移動の際、密閉空間にならないよう、定期的に換気をしたり、乗車人数を減らすなどの工夫をする。

③ 実行委員会は、更衣室で選手が密集しないよう、一度に利用できる人数を制限し明示する。また、更衣室の換気扇を常時運転したり、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

④ 実行委員会は屋内で実施する競技において、1時間に2～3回程度、会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。

⑤ 実行委員会及び引率者等は、大会会場のベンチや食事をする場所について、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、選手同士の間隔を取らせ、対面をさげ、会話は控えるよう指導する。

(4) 安全な活動環境等の確保

- ① 試合に関わる全ての者（選手、引率者等、大会役員、審判）は、大会前後1週間分（計約2週間分）の行動を、**行動履歴書【別紙4】**に記録する。
※**行動履歴書【別紙4】**は大会終了後1ヶ月間は各自で保管する。
- ② 実行委員会は、参加校に対して大会の趣旨、感染拡大予防ガイドラインを周知徹底する。参加校は、大会に参加する引率者等や選手及び応援者等に対し、参加に当たっての注意事項等を事前に説明し、**参加同意書【別紙5】**を提出させる。
- ③ 大会会場へ入場する応援者については、**来場者体調記録表【別紙3】**もしくは、**応援者等大会当日体調記録表【別紙6】**を記録の上、来場ごとに実行委員会に提出する。
- ④ 選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、引率者等や学校等と保護者が確実に、速やかに連絡がとれる体制を構築しておく。
- ⑤ 実行委員会は、大会会場施設と感染拡大予防対策について、事前に施設と打ち合わせを行う。
- ⑥ 実行委員会及び引率者等は、各競技特性に応じた、適切な感染拡大予防対策を講じる。

3 大会開催の基準

(1) 開催時期

感染状況に応じて、福岡県中学校体育連盟と福岡県教育委員会が各競技の特性に合わせて、開催の時期を検討し、安全な大会の実施を考える。

(2) 開催方法

必要最低限の人数で実施

- ① 選手：エントリー選手及び補助生徒のみの入場とすること。
- ② 大会役員・補助員：試合に必要な最低限の人数とすること。
- ③ 応援：感染拡大の状況を鑑み、必要に応じて無観客又は入場制限を行うこと。

(3) 競技会場及び競技上の留意事項

基本的な感染対策

- ① 競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスクの着用の推奨）などの基本的な感染症対策を徹底するよう指導する。会場でのアルコール消毒薬や石鹸等の準備は施設管理者と協力して設置する。
- ② 競技中の水分補給に関してはチーム共用を避け、個人のものを使用する。
- ③ 競技における適切な環境の保持のため、会場内の換気（できれば2方向の窓を同時に開ける）の徹底。空調や衣服による温度調節を含めて、温度、湿度管理に努める。または、各競技団体のガイドラインに従う。
- ④ 人が集まる場所（待機場所）では、身体的距離を2メートル程度保ち待機させる。
- ⑤ 共有物の適正な管理又は消毒を徹底する。

(4) 健康観察の実施

大会に参加するすべての者（選手、監督、引率者、大会役員、補助員等）検温を実施。

- ① 特に選手は、監督、引率者が責任をもって検温結果を確認すること。
- ② 監督、引率者は、試合前に選手の健康状況（含む検温状況）を確認し、体調不良の選手については保護者及び学校管理職に連絡の上参加させないようにする。選手の健康状況については、監督、引率者から各地区専門委員に報告し、専門部長は大会運営に支障がある場合にはその結果を担当理事に報告する。

(5) 部員又は引率者、監督者（関係指導者）の感染が判明した場合の考え方

1) 大会前

- ①部員又は引率者、監督者の感染が判明した場合において、濃厚接触者と特定された者は、保健所等の指示に従う。
- ②参加申込後の選手交代を認める。

2) 大会期間中

- ①発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。（各学校で指示しておくこと。）
- ②当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校管理職に連絡し帰宅させる。
- ③他の選手等の健康観察を徹底する。

※選手、監督、引率者、大会役員、補助員等の感染が判明した場合、開催可否判断を含め、福岡県教育委員会と福岡県中学校体育連盟理事会、開催地教育委員会で協議する。他競技においても同様とする。

別紙一覧

- 体調記録表（学校保管用）【別紙 1】
- 大会当日体調記録表【別紙 2】
- 来場者体調記録表【別紙 3】
- 行動履歴書【別紙 4】
- 参加同意書【別紙 5】
- 応援者等大会当日体調記録表【別紙 6】

